

公益社団法人 日本へら鮒プロ認定協会“JHPA”の活動について

今なら何とかなる。日本古来の釣り文化「へら鮒釣り」を守れ！

『釣りはふなに始まりふなに終わる』といわれているように、日本古来より伝統ある釣りで親まれてきました。しかし、30年ほど前より河川改修、池の埋め立てが始まり、釣り場が少なくなってきました。そこで、人が所有している池を借り、栈橋を作り、へら鮒を放流した管理釣り場が増加し、釣りクラブが多くなり釣り大会・競技会等が開催され、へら鮒釣りが競技志向へと移行していきました。当協会は「へら鮒釣り」をスポーツ化により世間にアピールし、へら鮒釣り人口の拡大を図っていききたいと思います。日本古来の伝統ある釣りを益々発展させるべく当協会は、努力していきます。

業界皆様へ

【最近のへら鮒釣り利用者数の推移】

下表の通り2007年度以降へら鮒釣り人口数は減少に転じ、この10年間のへら鮒釣り場の利用者率が低下している。

長期的展望は少子高齢化の加速や人口減から、市場規模は縮小化の方向にあり、引き続き経営環境は厳しいと予想される。

年	人数	増減	割合
2007年	4,430	0	100%
2008年	4,253	▲177	3.9%
2009年	3,633	▲797	17.7%
2010年	2,569	▲1,861	42%
2011年	2,456	▲1,974	44.56%
2012年	2,348	▲2,082	46.9%
2013年	2,150	▲2,280	51.5%
2014年	1,962	▲2,468	55.7%
2015年	1,486	▲2,944	66.5%
2016年	1,169	▲32.61	73.6%

2016年 86チーム x 11人/クラブ = 約 1,050人

野池釣り人口 約 2,000人
計 約 3,050人

へら鮒釣り人口の割合
これでいいのか？
10年後・・・？ 立ち上がるプロ認定協会

